

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No479



令和7年12月号

編集:広報・情報システム化委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

組合連合会（田中祐会長）主催の「第六十七回年次大会大阪大会」は、十月二十四日（金）に、「シェラトン都ホテル大阪」に於いて開催されました。

今大会はシール印刷
大阪府協同組合の担当で
「大阪シールの陣」いのち
輝く未来の業界のデザイン
ン」を大会テーマに開催さ

第67回年次大会大阪大会

全国から 320 名が参加盛大に
業界の未来を力強く切り開こう



320名が参加した第67回年次大会・大阪大会



ラベルコンテスト会場にも多くの人が



大阪プロレスとタレントショーで盛り上がった懇親会会場

ご来賓の紹介の後担当協組の坂田康司理事長が「ラベル業界が明るい未来となるべく今大会がそのきつかけとなることを願う」と開会の辞を述べました。

と挨拶しました。この後ご来賓挨拶と続き、経済産業省近畿経済局サービス・コンテンツ産業室長の遠藤浩規室長、大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課の山本芳生課長補佐、大阪市経済戦略局産業振興部産業振興課の長濱寛課長代理、日本印刷産業連合会の高島淳一常務理事、全日本シール印刷

良従業員表彰と続き、第三十五回シール・ラベルコンテストの入賞作品表彰があり、大阪の青年部長湯浅督一段長の大会宣言がありまし

れ、全国から組合員・会友
協賛会、ご来賓を含め三二
〇名が参加しました。

得られる仲間との交流や情報交換は大きな支えとなつてゐる。本大会が皆様にと

協賛会の服部真会長、大阪府中小企業団体中央会の谷山真紀子事務局長らが挨拶しました。

協組を代表して当協組の北島憲高理事長が「次回は来年十月十六日（金）に、東京ビッグサイトに於いて開催予定で、「ラベルフオーラムジャパン二〇二六」も開催されますので、どうかまた東京でお会いしましょう」と閉会の辞を述べました。

本日多くの皆さまのご臨席を賜り、この佳き日に「第67回年次大会・大阪大会」を開催することができました。

本大会は全国の組合員、会友、協賛会員が集い、親交を深め、新たなご縁を築き、業界の未来を展望する意義深い催しであります。コロナ禍で一旦途絶えてはいましたが、その後私たちは金沢において「温故知新」の精神を、神奈川においては「原点回帰」の思いを胸に、大会を重ねてまいりました。

そして本日、大阪市上本町シェラトン都ホテル大阪にて開催される本大会は、「大阪シールの陣・いのち輝く 未来の業界のデザイン」をコンセプトに掲げ、大阪・関西万国博覧会の熱気を受け継ぎながら、業界の未来を力強く切り拓く大会として実施いたします。

私たちはすべての参加者の皆様を心から歓迎するとともに、業界の発展と社会への貢献を使命として、全員が一致団結し、新たな飛躍を目指すことをここに誓います。そしてこの大会を通じて、結束の力を高め、業界の未来を担う礎を築いてまいります。

本大会が業界のさらなる発展に向けた大いなるきっかけになることを心より願い、大会宣言といたします。

令和7年10月24日
シール印刷大阪府協同組合青年部



局まで。

問い合わせは組合事務
四二〇三一入り。

糊・テープ・シール

ラベル剥離 ホットメルト
EVA 洗浄剤

有機剤・PRT法非該当
①2種類の強力洗浄成
分が頑固な接着剤をスピ
ディーに溶解

の安心設計。

糊・テープ・シール
ラベル剥離 ホットメルト
EVA 洗浄剤

（㈱東洋化学商会（江東区
亀戸九の三十七の一☎三六
八五—四三五一）では、頑
固なシール・テープを一氣
に除去！植物由來の剥離ス
プレー「剥（はく）」を發
売しています。

東洋化学商会発売
植物由來の剥離スプレー

の漫才で幕が開くという演出で、坂田康司理事長が登壇して全員で乾杯しました。

懇親会は大阪らしい笑いが詰まった内容となり、コメディアンや大阪プロレスのショーンなどで大いに盛り上がり、最後は森山健二副理事長など役員が登壇しました。

「大阪締め」で幕となりました。第三十五回シール・ラベルコンテストは、今回全員（平圧二十三、輪転四十五）の中から、第二次審査まで行われ、最高の経済産業大臣賞にはタカラが受賞しました。ちなみに当組合からは三社、六作品が出来、サンメックが産業大

臣官房商務・サービス審議官賞を受賞しました。これらは三社、六作品が出来され、サンメックが産業大臣賞を受賞しました。（㈱東洋化学商会（江東区亀戸九の三十七の一☎三六八五—四三五一）では、頑固なシール・テープを一気に除去！植物由來の剥離スプレー「剥（はく）」を発売しています。

国六十社から一〇三作品の応募があり、自由課題三十五作品、規定課題六十八作

島憲高理事長が「次回は来年十月十六日（金）に、東京ビッグサイトに於いて開催予定で、「ラベルフオーラムジャパン二〇二六」も開催されますので、どうかまた東京でお会いしましょう」と閉会の辞を述べました。

本大会は全国の組合員、会友、協賛会員が集い、親交を深め、新たなご縁を築き、業界の未来を展望する意義深い催しであります。コロナ禍で一旦途絶えてはいましたが、その後私たちは金沢において「温故知新」の精神を、神奈川においては「原点回帰」の思いを胸に、大会を重ねてまいりました。

そしてこの大会を通じて、結束の力を高め、業界の未来を担う礎を築いてまいります。

団体連携型 DX 人材育成事業

中小企業のための DX セミナー

AI や ChatGPT について学ぶ

組合主催の「中小企業のためのDXセミナー」が十一月十一日(火)午後五時より、台東区神田佐久間町の会議室インスタベースにおいて開催され、組合員十五名が参加しました。

今回のセミナーは東京都の補助金事業である団体連携型DX人材育成推進事業で、組合等が組合員等に対しても行うDX人材の育成に関する取り組みに要する経費の一部が東京都から助成されています。



DXセミナーについて学びました



講師の露英一氏

よる音声を流している。
今回の露講師の講演は
「非常に分かり易かつた」
という声が多く、参加者か
らは好評でした。

露英一へつゆ・ひでかず）氏を講師に『DXとは何か』につたい私たちの何が変わったのか』について一時間半に亘つて勉強しました。

露講師は「DXとはデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、競争上の優位性を確立すること」と前置きしたうえで、「DXの第一歩は知ること、使ってみること。人もお金も『無い』の『無い』を埋めるのが生成AIです。人材育成の第一歩として全員がAIに触れることがから始めほしい」として、石川県の部品製造会社の実例をしながらDXの導入によつ

て業務が効率化し、業績のアップにつながったのかを解説しました。

露講師は「生成AIは誰もが使うことのできる便利な道具であり、人間のように考えて学ぶコンピュータです。そもそも生成AIとはLLM（大規模言語モデル）と言われ、膨大な量の文章を学習し、人間のように自然な文章を創り出したり、内容を理解したりできる非常に賢いAIのこと」と説明し、AIのもつとも代表的なChatGPTを使ってほしいと、その場で参加者にChatGPTをスマートにダウンロードさせて、さらにその使い方を説明しました。

「いきなり頂上を目指す必要はない。全社でのD・業務アプリを作る。ま

まずは A I に触ってみる（二合目）から。経営者がやると決める。自社の DX 戦略を自分の言葉で発信することが大事になる」

最後に「A I 活用は今後必須になることは間違いない。DX を推進している企業とそうでない企業との差は、すでに大きく開いています。A I を使いこなせないかで大きな差が出てくる可能性が高い。会社に A I を活用できる人材を一人でも多く抱えることが重要」と締めくくりました。



寄 稿 No7

この20年で大きく変わった印刷 DX、AIをどう取り入れるか

(株)フジラベル印刷 藤井 雅一

私は前職のT&KTO
KA（印刷インキメーク
）より二〇〇四年にフジ
ラベル印刷に戻ってきて早
20年以上が経ちました。

そこでは様々なテーマの勉強会があり、多くの事を学びました。特に経営開発係の勉強会は私にとって大変になりました。

また懇親会などのお酒の席では、多くの方と知り合い、沢山の関係を築くことが出来たと思います。

この二〇年で印刷業界も大きく変わったと思います。デジタル機の普及・広がりが物凄く、展示会も昔は大型の印刷機がドーンと展示され、デモンストレーションが行わっていましたが、今ではあまり見る事が出来ず、デジタル機が所狭しと展示されています。

一ドが速すぎて、中々迫りついていけない部分もありますが、既に取り入れて結果を出している人から、情報共有や教えてもらいながら、自社にも生かしていきたいと思います。

最近では特に A-I に興味、関心があり、先月組合主催で開催された「DXセミナー」に参加させていただき、大いに参考になりました。

最後に私個人の事と言えば、昨年の4月に断裂した前十字靭帯の再建手術をして、先日は膝に残つていたネジを取り除く手術をし

年齢も五〇歳を超え、
体の自由が徐々に効かなくな
なつてくる年頃、気づけば
自分より年が下で元気な人
達が多くなつてきた今日こ
の頃です。

これからも公私ともに
元気に過ごせるように頑張
つていきたいと考えるオツ
サンと真ん中の藤井でした。
皆さん、今後とも宜しくお
願いいたします。

※組合では組合員・会友
協賛会の方々から、原稿を
募集しています。紀行文、
随筆、会社紹介、自己紹介
等々、是非組合までお寄せ
下さい。

当然インキの知識はありましたが、経営の知識は皆無に等しい状態でした。

そのため決算書などもまったく読める状態ではありませんでした。また、自分の会社が印刷関係のいくつかの組合に入っている事が分かり、右も左も分からないままで、とりあえず参加してみました。

驚くほどキレイに仕上がり
ます。

組合員（親会・青年会）
の年齢が上がり、組合員数
の数も年々減少傾向にある
中、新しい物・事を取り入
れ、業績を伸ばし続ける頼
もしい仲間が沢山いるのが
この組合の良い所かなと、
最近は実感するようになり
ました。

運動は問題なく出来る
ので、リハビリ目的でジム
に通いながら、これからも
精力的に動けるようにボデ
イメンテ中です。

これと合わせて血圧対
策の為に無添加のトマトジ
ュースを飲み続けるも、今
の所は血圧が下がるどころ
か逆に上がつてしまつてい
る有様。

この二十年の間に会社の浮き沈みを経験しながら何とか今日こ至りました。

デジタル印刷の品質も日に日に良くなり、これがデジタルで印刷してのかど

て、あとは来年4月の術後2年の完全終了までもう少しです。

した。

※組合では組合員・会友、
協賛会の方々から、原稿を

■冬に多い突然死とは

突然死の定義には諸説あります。が、二十四時間以内に死亡に至ることとするのが一般的のようです。もちろん、外傷・事故などの外因死や自殺は含まれません。

No217 健康がいちばん!

気を付けたい冬に多い突然死

ヒートショックで1万4千人

■突然死の原因とは

突然死の原因としては、心疾患、脳血管障害、呼吸器疾患などが挙げられます。が、救急外来に心肺停止状態で救急搬送され、解剖がなされないことも多く、死因の確定診断がつかないことが多いのが現状です。日

本では年間約十万人の方が突然死で亡くなっていると特定された突然死一三一例のうち、心疾患が全体の約七〇%を占め、その約三分の一が狭心症・心筋梗塞で、他に重症不整脈、大動脈破裂・解離、心筋症などがあります。

次に多いのが脳血管障害で、全体の約二〇%を占め、そのうち約半数が脳出血でくも膜下出血、脳梗塞が続きます。

■リスク要因と生活習慣

心筋梗塞や脳梗塞・脳出血は動脈硬化が主な原因で、糖尿病・肥満・高血圧・高脂血症・喫煙などがその危険因子です。

言い換えれば、生活習慣を改善することで突然死のリスクを減らすことがで

きるということです。生活習慣を改善するためには、以下の習慣を日常生活に取り入れることが大切です。

①毎年健康診断を行い、異常を指摘されたら放置せず精密検査を受け、必要な治療に繋げる。

■生活習慣の見直しを

暖かい居間から寒い脱衣所・浴室へ、次に暖かい湯船につかることで、血管は収縮拡張を短時間の間に繰り返し身体が対応しきれなくなり、心筋梗塞、脳卒中など重篤な状態を引き起ります。ヒートショック

■冬場はヒートショック

ささらに、冬場の突然死の原因として忘れてはならないのが、ヒートショックです。ヒートショックとは、温度の急激な変動に伴い、血压が乱高下することが起こります。ヒートショックによる死亡例は六五歳以上の高齢者がほとんどで、高齢者の入浴中は特に注意が必要です。

■参考資料】 <http://ohp-service.com/column>